

要 望 書

市川航路の浚渫土砂活用による漁場環境の改善について

平成22年7月

市川市行徳漁業協同組合・南行徳漁業協同組合



20100705-0240

平成22年 7月 5日

市川市長 大久保 博 様

市川市行徳漁業協同組合

代表理事組合長 石井 洋 祐



南行徳漁業協同組合

代表理事組合長 榎本 保



市川航路の浚渫土砂活用による漁場環境の改善について（要望）

盛夏の候、貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、両組合の運営につきましては、日頃からご指導・ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、我々漁業者は、漁場環境の悪化に危機感を持ち、一刻も早く生産力のある漁場となるよう昨年4月、千葉県及び市川市に「漁場環境の早期改善及び漁港整備について」要望書を提出しました。

しかし、漁場環境の改善につきましては、なかなか具体的な実施に至っておりません。

そこで、現在、漁場再生検討委員会で漁場改善の実現化に有効な覆砂を検討しておりますが、今回、漁場に一番近い市川航路から平成22、23年度にかけて、大量の浚渫土砂が発生することから、是非、その浚渫土砂を有効活用して覆砂を行い、底質改善や干潟化を図るよう、千葉県に働きかけていただきたくお願いします。